

みんなのひろば

Message



市民と編集担当者とのおしゃべりコーナー「みんなのひろば」です。みなさまからいただいたメッセージを紹介していきます。今回は、前号(45号)のクイズ応募ハガキからです。

淡路市では、「共生のまちづくり」を進めています。相手を尊重し、多様な考え方を受入れられる人づくりです。この共生の中に、外国にルーツを持つ人たちや障がいのある人たちも含まれます。皆で共生。

▼「べっちゃない」てどういう意味？9月に神戸より転居したばかりで方言がわからず困る事が…。参考パンフでもあれば…と思っっています。(60代)

▼人名にルビがあるのでうれしいです。それぞれ独特のよみ方がありますから。人の名前には、親のそれぞれの願いがこめられているので、間違っっては失礼ですから。例えば表紙の長田賢さんを私は「ナガタ ケン」さんと読んでしまいます。フリガナがあつてよかったです。(50代)

▼「大丈夫」という意味で、相手を励ます場合にも使用します。隣の国の朝鮮語では、「ケンチャナヨ」といいます。この言葉で、日常の「不安」を追っ払って下さい。

▼クロスワードパズルのヒントの上の部分☆黄色枠の5文字でできる言葉が答えです。って書いてあります。答えは6文字ですが…40代) 本当ですね。ここでミスを侵していました。失礼しました。79枚もの応募ありがとうございます。

▼p7「淡路島のすべての人がもつと開放的で世話好きになり、移住した人を含め島民一体と…」全くその通りです。日本人全体に伝える事ですが他府県の田舎地方に移つ

▼4月から教育現場を離れ、地域貢献できることをと色々とした。手話もその一つ。自分が知らなかった、わかつてなかつたことがいっぱいあり、どんなことも勉強になると実感しています。(50代) 私第2の人生には、生きがいや、「居場所」が必要であると考えています。「地域貢献」もやはり大きな課題です。自分が地域とどんな関係で暮らせるか？考えてみます。

てしまします。心がけねば…。

《メッセージをお寄せください》
クイズ応募ハガキ、FAXやメールでお願いします。
TEL 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565
Eメール: awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

くらしのトピックス⑦

淡路市社会福祉協議会

集落を走れ!! 守れ!! つながれ!!
しゃきよの移動販売「いづかし号」(続編)

しゃきよの移動販売「いづかし号」がスタートして10カ月が経過しました。現在、市内42か所で移動販売を行なっています。今回は移動販売による効果についてお話しします。

◎ゆるやかな「見守り」

移動販売車が到着する30分くらい前から徐々に人が集まり始め、集まった人から世間話に花が咲きます。来られていない人がいると、「忘れとんのちゃうか」と呼びに行かれる人がいたり、帰りに「寄ってみよか」といった会話があたり、ご近所同士での「気のかけあい」があちこちで生まれはじめています。

◎障がいのある人への理解

移動販売は障がいのある人の就労の機会です。レジに行列ができたり、間違えたりすることもあります。そんな時もお客さんは、にこやかに順番を待つて下さったり、やさしく指摘して下さいます。買い物たびに顔を合わせ、お互いに少しずつ知り合っていくことで相互理解が生まれはじめています。

ぼわんといい手話!!

第35回

手話は、ろうあ者が日常使用しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話やろうあ者の生活等を紹介していきます。



ろうあ者の日常生活を知ろう⑩
手話に興味はあるけれど、難しそうだと思っっていますか？ろう者にとって手話での会話が一番分かりやすいのですが、ジェスチャー、口話、空書、筆談などコミュニケーションシヨンをとる方法他にもあります。手話ができなくても遠慮なく話しかけてください。ね。

協力：淡路聴力障害者協会
手話サークル津名